


重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

厚生労働省サイトよりまとめ

- 2009年中国で報告。2011年ウイルス分離。
 - 潜伏期：マダニに咬まれてから6日～2週間。
 - **ブヤニウイルス科フレボウイルスに属する。熱や酸に弱く、消毒用アルコール、台所洗剤、紫外線照射で失活する。**
- 
- 症状は高熱、下痢・嘔吐、頭痛、筋肉痛、意識障害、リンパ節腫脹など。
 - 検査所見は血小板減少(10万/mm³未満)、白血球減少、肝機能障害、タンパク尿、血尿など。
 - 治療薬はなく。致死率は10%程度。
 - 感染経路はマダニだが接触感染の可能性もある。飛沫感染や空気感染の報告はない。
 - 予防はマダニに咬まれないようにする事。草むらに入る時は長靴、長ズボンで肌を露出させない。



マダニ：

森林や草地に生息、春から秋にかけて活動的になる。
数日から長いもので10日間吸血する。
無理にとると虫体が残るので病院で処置。
ツツガムシ病、ライム病、日本赤斑熱などの媒体。

株式会社サナシオ／サナシオクリニック

〈KOBE〉神戸市中央区三宮町 1-4-4-3F

〈TOKYO〉東京都中央区銀座 6-16-12-12 丸高ビル 3F